

園路を歩くなら…

インタープリターのイチ推し！～夏編～

～2026年度はセンターから近く、光が届く明るい環境の「バリアフリー園路」をご紹介します～



ツリフネソウ



「吊られた船」のような形の花で、蜜は、くると丸まった先端に隠されています。この花には、マルハナバチたちの体型がジャストフィット！花粉まみれになりながら、「すぽーん！すぽーん！」と入ったり出たりを繰り返す彼らを眺めるのが楽しいですよ！



トリカブト



毒草として言わずと知れたトリカブトですが、花色の個性差が大きく、北海道で真っ白なトリカブトを見つけたことがあります。みなさんも自分好みのトリカブトを探してみたいかでしょうか。



キカマギリモドキ

なんとも珍妙な見た目をした本種。特徴的なのは、カマギリのような鎌の形をした前脚。そしてハチのような配色。まるでカメラのようで、まじまじと観察したくなる昆虫です。



オオミズアオ



淡く青い産毛に覆われた翅が粉雪を思わせ、真夏ののに雪の妖精を思わせる姿をしています。夏恒例のライトトラップで見れたら嬉しい虫です。



ヤマアカガエル



散策路を歩いていると、時折ぴょんとはねて逃げていくカエル。姿が地面にそっくりで、一度見失うとなかなか見つけることができないため、動いた一瞬で見つけるのがコツです。



オニヤンマ



真夏の高原を車で走ると前を飛んでいるので、50～60km くらいで飛んでいるようです。フィールドセンターで虫取り網を借りて観察に挑戦する人もいます。

スタッフからのひとこと自己紹介！

もり



最近、半袖半ズボンで一日カエルを探していたら風邪をひきました。。

りーた



黒磯周りは美味しいラーメン屋さんが多くて助かります。

のぶ



夏の那須平の森の給湯室シンクには毎朝カマドウマが1匹現れます。

かりー



先日のこと…寝室の外からアカショウビンの「キョロロロ…」という声が！賢い目覚めでした♪

2026 年度 4 月～6 月のできごと

【お陰様で3年目！】

SUBARU『一つのいのちプロジェクト』連携プログラム

ツツジや新緑を楽しむことができる5月に、SUBARU ユーザー向けおよび労働組合員向けのプログラムを実施しました。季節の自然を楽しむガイドツアーにて、自然の中の“いのち”に親しんでいただきました。また、ユーザー向けのプログラムでは、ガイドツアーに加えて『樹木調査』を実施し、昨年11月に『湿地づくり』を行ったエリアの周辺には、どのような大きさや種類の樹木がどれだけあるのかを協力して調べました。調査結果は、今後の環境整備の際に活用し、鳥などの森の生き物たちが過ごしやすくなる森づくりにつなげていく予定です。



【移り変わる花の季節】

那須平成の森ハイク～1日じっくり森林散策～

陽光が透ける若葉を楽しみながら散策する特別な一日。標高1,100m から800m まで緩やかに下がっていると、目の前に歌うキビタキが何度も現れ、彼らの声に聞き惚れてしまいました。

当日はツツジの季節でしたので、紫・白・赤、山を下ると共に涼しい季節から暖かい季節の花に移り変わるのが分かり、終着付近では出発時に見た紫のツツジが散って足元に敷かれたような様子が美しかったです。

次回の1日コースは少し涼しくなり始める9月。今度ではどんな自然に出会えるか楽しみです。



那須平成の森サポーター制度、スタート！



一緒に学び、楽しみ、守りつなげよう

那須平成の森の理念に共感していただける企業・団体・個人等の多様な主体とともに、那須平成の森における自然を楽しむ活動や環境を保全する活動を持続可能な形で実施するために、サポーター制度を開始しました。サポーターの皆様にはぜひ、那須平成の森で、それぞれの得意分野やノウハウを活かした活動を行っていただきたいと思います。那須平成の森の理念と本制度の趣旨に賛同していただける方は、個人、企業、団体、学校等の形態は問わず、どなたでもご登録いただけます。

サポーターの活動例

- ① 保全活動への参加
- ② 自然を楽しむイベントの実施
- ③ 自然環境調査への協力や知見の提供
- ④ 那須平成の森の魅力発信やプロモーション
- ⑤ 寄付等による那須平成の森の活動への支援 等

那須平成の森がサポーターに対して実施する取組

- ① 那須平成の森における自然やイベント等の最新情報の提供
- ② 那須平成の森におけるサポーターとのイベント等の企画提案
- ③ 那須平成の森におけるサポーターの取組の発信、広報
- ④ サポーター同士の横の繋がりを創出するための交流促進

サポーターの皆様と一緒に那須平成の森を盛り上げていければと思っています。ご不明点、ご相談などございましたら、ぜひお気軽にご連絡ください。

